



平成 27 年 4 月 13 日

各 位

会社名 株式会社石井表記
代表者名 代表取締役 石井 峯夫
(コード番号 6336 東証第2部)
問合せ先 取締役 渡邊 伸樹
管理本部長
(TEL 084-960-1247)

**(訂正・数値データ訂正)「平成 26 年 1 月期 決算短信[日本基準] (連結)」の
一部訂正について**

平成 26 年 3 月 20 日に開示いたしました「平成 26 年 1 月期 決算短信[日本基準] (連結)」について、訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

訂正理由につきましては、本日、別途開示いたしました「過年度決算短信等の訂正および平成 27 年 1 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正内容

訂正箇所には下線を付しております。

<サマリー情報>

(訂正前)

1. 平成26年1月期の連結業績 (平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期	6,123	△21.4	<u>△22</u>	—	△91	—	△100	—
25年1月期	7,791	△38.0	<u>△15</u>	—	△105	—	812	—

(注) 包括利益 26年1月期 43百万円 (△95.4%) 25年1月期 949百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年1月期	△15.73	—	△27.6	△0.9	<u>△0.4</u>
25年1月期	102.34	69.25	△86.7	△0.9	△0.2

(参考) 持分法投資損益 26年1月期 ー百万円 25年1月期 ー百万円

(中略)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年1月期	<u>90</u>	<u>209</u>	△509	2,127
25年1月期	<u>△1,520</u>	398	1,564	2,198

(中略)

3. 平成27年1月期の連結業績予想 (平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,349	0.9	90	<u>863.2</u>	66	—	43	28.1	4.10
通期	7,134	16.5	362	—	291	—	293	—	34.66

(訂正後)

1. 平成26年1月期の連結業績 (平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期	6,123	△21.4	<u>△18</u>	—	△91	—	△100	—
25年1月期	7,791	△38.0	<u>△14</u>	—	△105	—	812	—

(注) 包括利益 26年1月期 43百万円 (△95.4%) 25年1月期 949百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年1月期	△15.73	—	△27.6	△0.9	<u>△0.3</u>
25年1月期	102.34	69.25	△86.7	△0.9	△0.2

(参考) 持分法投資損益 26年1月期 一百万円 25年1月期 一百万円

(中略)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年1月期	94	<u>205</u>	△509	2,127
25年1月期	<u>△1,519</u>	398	1,564	2,198

(中略)

3. 平成27年1月期の連結業績予想 (平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,349	0.9	90	<u>699.5</u>	66	—	43	28.1	4.10
通期	7,134	16.5	362	—	291	—	293	—	34.66

<添付資料>

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

① 当期の経営成績

(訂正前)

(省略)

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに応えるべく製品等の改良施策を推進してまいりましたが、当連結会計年度の売上高は61億23百万円（前連結会計年度比21.4%減）となり、営業損失は22百万円（前連結会計年度は15百万円の営業損失）、経常損失は91百万円（前連結会計年度は1億5百万円の経常損失）、当期純損失は1億円（前連結会計年度は8億12百万円の当期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(中略)

【ディスプレイおよび電子部品】

パチスロ機の人気も一度は回復したものの、再びパチスロの稼働状況が低下し、当社の販売も減少いたしました。

国内需要の不振や中国市場の停滞により工作機械および産業用機械市場に停滞が見られましたが、当社スイッチパネルの販売は微増となりました。

その結果、売上高は31億98百万円（前連結会計年度比29.9%減）、営業利益は1億83百万円（前連結会計年度比57.2%減）となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに応えるべく製品等の改良施策を推進してまいりましたが、当連結会計年度の売上高は61億23百万円（前連結会計年度比21.4%減）となり、営業損失は18百万円（前連結会計年度は14百万円の営業損失）、経常損失は91百万円（前連結会計年度は1億5百万円の経常損失）、当期純損失は1億円（前連結会計年度は8億12百万円の当期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(中略)

【ディスプレイおよび電子部品】

パチスロ機の人気も一度は回復したものの、再びパチスロの稼働状況が低下し、当社の販売も減少いたしました。

国内需要の不振や中国市場の停滞により工作機械および産業用機械市場に停滞が見られましたが、当社スイッチパネルの販売は微増となりました。

その結果、売上高は31億98百万円（前連結会計年度比29.9%減）、営業利益は1億87百万円（前連結会計年度比56.3%減）となりました。

(省略)

(2) 財政状態に関する分析

(省略)

② キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(省略)

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動の結果得られた資金は90百万円（前連結会計年度は15億20百万円の使用）となりました。主要な増加要因は減価償却費 3億44百万円であり、主要な減少要因はたな卸資産の増加額 3億3百万円であります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動の結果得られた資金は2億9百万円（前連結会計年度比47.6%減少）となりました。主要な増加要因は有形固定資産売却収入の前受金 1億86百万円、有価証券の売却及び償還による収入 1億30百万円、投資有価証券の売却による収入 1億17百万円であり、主要な減少要因は有形固定資産売却費用の前払金93百万円、有形固定資産の取得による支出73百万円、子会社株式の取得による支出56百万円であります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動の結果使用した資金は5億9百万円（前連結会計年度は15億64百万円の獲得）となりました。主な要因は短期借入金の純減額 2億79百万円、リース債務の返済による支出 1億1百万円であります。

なお、当社グループの連結キャッシュ・フローの指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成24年1月期末	平成25年1月期末	平成26年1月期末
自己資本比率 (%)	△19.4	3.4	3.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	17.7	17.4	22.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	85.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	0.7

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値を用いて、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後の期末発行済株式数により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. 営業キャッシュ・フローおよび利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を用いております。

(訂正後)

(省略)

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動の結果得られた資金は94百万円（前連結会計年度は15億19百万円の使用）となりました。主要な増加要因は減価償却費 3 億44百万円であり、主要な減少要因はたな卸資産の増加額 3 億 3 百万円であります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動の結果得られた資金は 2 億 5 百万円（前連結会計年度比48.5%減少）となりました。主要な増加要因は有形固定資産売却収入の前受金 1 億86百万円、有価証券の売却及び償還による収入 1 億30百万円、投資有価証券の売却による収入 1 億17百万円であり、主要な減少要因は有形固定資産売却費用の前払金93百万円、有形固定資産の取得による支出73百万円、子会社株式の取得による支出56百万円であります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動の結果使用した資金は 5 億 9 百万円（前連結会計年度は15億64百万円の獲得）となりました。主な要因は短期借入金の純減額 2 億79百万円、リース債務の返済による支出 1 億 1 百万円であります。

なお、当社グループの連結キャッシュ・フローの指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成24年 1 月 期 末	平成25年 1 月 期 末	平成26年 1 月 期 末
自己資本比率 (%)	△19.4	3.4	3.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	17.7	17.4	22.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	<u>81.5</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	<u>0.8</u>

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値を用いて、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値 × 自己株式控除後の期末発行済株式数により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. 営業キャッシュ・フローおよび利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を用いております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

(訂正前)

当社グループは、平成24年1月期におきまして、太陽電池ウエーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。前連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、前連結会計年度の当期純利益は債務免除益等の特別利益によるものであり、当連結会計年度におきましても22,843千円の営業損失、91,683千円の経常損失を計上し、当期純損失も100,366千円となったことから、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(訂正後)

当社グループは、平成24年1月期におきまして、太陽電池ウエーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。前連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、前連結会計年度の当期純利益は債務免除益等の特別利益によるものであり、当連結会計年度におきましても18,938千円の営業損失、91,683千円の経常損失を計上し、当期純損失も100,366千円となったことから、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当連結会計年度 (平成26年1月31日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	270,866	251,964
破産更生債権等	1,039,081	1,024,318
長期未収入金	634,770	600,791
その他	<u>201,723</u>	<u>123,649</u>
貸倒引当金	<u>△1,695,207</u>	<u>△1,637,845</u>
投資その他の資産合計	451,234	362,878
固定資産合計	5,479,562	5,096,016
資産合計	10,730,776	10,167,311
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当連結会計年度 (平成26年1月31日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	270,866	251,964
破産更生債権等	1,039,081	1,024,318
長期未収入金	634,770	600,791
その他	<u>202,125</u>	<u>127,955</u>
貸倒引当金	<u>△1,695,608</u>	<u>△1,642,152</u>
投資その他の資産合計	451,234	362,878
固定資産合計	5,479,562	5,096,016
資産合計	10,730,776	10,167,311
(省略)		

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
 (連結損益計算書)
 (訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成24年2月1日 至 平成25年1月31日)	(自 平成25年2月1日 至 平成26年1月31日)
売上高	7,791,285	6,123,666
売上原価	5,709,855	4,491,455
売上総利益	2,081,430	1,632,211
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△12,671	△34,431
給料及び賞与	517,259	513,589
退職給付引当金繰入額	34,152	△664
減価償却費	161,954	105,120
販売手数料	70,696	85,189
試験研究費	417,146	160,422
その他	908,195	825,829
販売費及び一般管理費合計	2,096,735	1,655,054
営業損失(△)	△15,304	△22,843
(中略)		
営業外費用		
支払利息	115,818	120,961
貸貸費用	4,590	3,911
遅延損害金	58,342	—
減価償却費	55,393	50,708
その他	36,676	415
営業外費用合計	270,822	175,996
経常損失(△)	△105,025	△91,683
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成24年2月1日 至 平成25年1月31日)	(自 平成25年2月1日 至 平成26年1月31日)
売上高	7,791,285	6,123,666
売上原価	5,709,855	4,491,455
売上総利益	2,081,430	1,632,211
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△12,671	△34,431
給料及び賞与	517,259	510,793
退職給付引当金繰入額	34,152	△664
減価償却費	161,954	105,120
販売手数料	70,696	85,189
試験研究費	417,146	160,422
その他	907,794	824,720
販売費及び一般管理費合計	2,096,333	1,651,149
営業損失(△)	△14,903	△18,938
(中略)		
営業外費用		
支払利息	115,818	120,961
貸貸費用	4,590	3,911
遅延損害金	58,342	—
減価償却費	55,393	50,708
貸倒引当金繰入額	401	3,905
その他	36,676	415
営業外費用合計	271,223	179,902
経常損失(△)	△105,025	△91,683
(省略)		

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書
(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成24年2月1日 至 平成25年1月31日)	(自 平成25年2月1日 至 平成26年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	820,776	△53,213
減価償却費	471,617	344,796
減損損失	35,343	63,014
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>2,058</u>	<u>△34,513</u>
(中略)		
小計	<u>82,902</u>	<u>207,212</u>
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,520,068</u>	<u>90,240</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	—	130,000
有形固定資産の取得による支出	△151,872	△73,208
有形固定資産の売却による収入	1,829	3,305
有形固定資産売却収入の前受金	—	186,000
有形固定資産売却費用の前払金	—	△93,000
無形固定資産の取得による支出	△3,090	△1,484
投資有価証券の取得による支出	△2,503	△2,404
投資有価証券の売却による収入	125,636	117,991
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	294,529	—
貸付けによる支出	<u>—</u>	<u>△2,500</u>
貸付金の回収による収入	3,897	1,712
子会社株式の取得による支出	—	△56,000
定期預金の払戻による収入	129,900	—
その他	620	△1,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>398,947</u>	<u>209,152</u>
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年2月1日 至 平成25年1月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年2月1日 至 平成26年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純 損失(△)	820,776	△53,213
減価償却費	471,617	344,796
減損損失	35,343	63,014
貸倒引当金の増減額(△は減少)	<u>2,459</u>	<u>△30,608</u>
(中略)		
小計	<u>83,303</u>	<u>211,117</u>
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,519,667</u>	<u>94,146</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	—	130,000
有形固定資産の取得による支出	△151,872	△73,208
有形固定資産の売却による収入	1,829	3,305
有形固定資産売却収入の前受金	—	186,000
有形固定資産売却費用の前払金	—	△93,000
無形固定資産の取得による支出	△3,090	△1,484
投資有価証券の取得による支出	△2,503	△2,404
投資有価証券の売却による収入	125,636	117,991
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 収入	294,529	—
貸付けによる支出	<u>△401</u>	<u>△6,405</u>
貸付金の回収による収入	3,897	1,712
子会社株式の取得による支出	—	△56,000
定期預金の払戻による収入	129,900	—
その他	620	△1,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>398,545</u>	<u>205,246</u>
(省略)		

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

(訂正前)

当社グループは、平成24年1月期におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。前連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、前連結会計年度の当期純利益は債務免除益等の特別利益によるものであり、当連結会計年度におきましても22,843千円の営業損失、91,683千円の経常損失を計上し、当期純損失も100,366千円となったことから、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(訂正後)

当社グループは、平成24年1月期におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。前連結会計年度におきましては、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、前連結会計年度の当期純利益は債務免除益等の特別利益によるものであり、当連結会計年度におきましても18,938千円の営業損失、91,683千円の経常損失を計上し、当期純損失も100,366千円となったことから、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 平成24年2月1日 至 平成25年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額(注)3
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,124,659	4,562,671	7,687,330	103,955	7,791,285	—	7,791,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,124,659	4,562,671	7,687,330	103,955	7,791,285	—	7,791,285
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	△593,698	<u>429,251</u>	<u>△164,446</u>	149,142	<u>△15,304</u>	—	<u>△15,304</u>
セグメント資産	3,839,837	4,465,370	8,305,207	1,275	8,306,483	2,424,293	10,730,776
その他の項目							
減価償却費	165,828	247,333	413,162	—	413,162	—	413,162
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	16,559	132,894	149,453	—	149,453	—	149,453

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれてない事業セグメントであり、太陽電池ウエーハ事業であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、当社の現金及び預金ならびに投資有価証券等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失の合計は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

4. セグメント負債については、意思決定に使用していないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 平成25年2月1日 至 平成26年1月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額(注) 3
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,910,240	3,198,034	6,108,275	15,391	6,123,666	—	6,123,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,910,240	3,198,034	6,108,275	15,391	6,123,666	—	6,123,666
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	△250,487	183,770	△66,717	43,873	△22,843	—	△22,843
セグメント資産	3,123,109	3,858,800	6,981,909	1,411	6,983,321	3,183,989	10,167,311
その他の項目							
減価償却費	116,123	174,937	291,061	96	291,158	—	291,158
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	25,299	55,998	81,298	965	82,263	—	82,263

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれてない事業セグメントであり、主に太陽電池ウエーハ事業であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、当社の現金及び預金ならびに投資有価証券、遊休資産等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失の合計は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

4. セグメント負債については、意思決定に使用していないため、記載しておりません。

(訂正後)

(省略)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度 (自 平成24年2月1日 至 平成25年1月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額(注) 3
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,124,659	4,562,671	7,687,330	103,955	7,791,285	—	7,791,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,124,659	4,562,671	7,687,330	103,955	7,791,285	—	7,791,285
セグメント利益又はセグメン ト損失 (△)	△593,698	<u>429,653</u>	<u>△164,045</u>	149,142	<u>△14,903</u>	—	<u>△14,903</u>
セグメント資産	3,839,837	4,465,370	8,305,207	1,275	8,306,483	2,424,293	10,730,776
その他の項目							
減価償却費	165,828	247,333	413,162	—	413,162	—	413,162
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	16,559	132,894	149,453	—	149,453	—	149,453

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれてない事業セグメントであり、太陽電池ウエーハ事業であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、当社の現金及び預金ならびに投資有価証券等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失の合計は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

4. セグメント負債については、意思決定に使用していないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 平成25年2月1日 至 平成26年1月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額(注) 3
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,910,240	3,198,034	6,108,275	15,391	6,123,666	—	6,123,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,910,240	3,198,034	6,108,275	15,391	6,123,666	—	6,123,666
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	△250,487	<u>187,675</u>	<u>△62,811</u>	43,873	<u>△18,938</u>	—	<u>△18,938</u>
セグメント資産	3,123,109	3,858,800	6,981,909	1,411	6,983,321	3,183,989	10,167,311
その他の項目							
減価償却費	116,123	174,937	291,061	96	291,158	—	291,158
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	25,299	55,998	81,298	965	82,263	—	82,263

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれてない事業セグメントであり、主に太陽電池ウエーハ事業であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額は、当社の現金及び預金ならびに投資有価証券、遊休資産等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失の合計は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

4. セグメント負債については、意思決定に使用していないため、記載しておりません。

以上